

第6回資料保存シンポジウム

資料保存の最新事情—さまざまな取り組みの中から—

開催趣意書

情報保存研究会（JHK）と社団法人日本図書館協会は、これまで5年間に渡り、資料保存というフィールドにおけるシンポジウムを毎年1回、共催のかたちで開催してまいりました。

2007年は「プリザベーション・マネジメント—資料保存の新しい地平—」、2008年は「図書館・アーカイブズにプリザベーション・マネジメントを着地させるには—調査と計画、そして実行のケース・スタディー—」、2009年は「資料保存を实践する—事例から学ぶ現場の知恵—」、2010年は「デジタルアーカイブの最前線—現状と未来—」、2011年は「資料を護り継ぐ—平時も、非常時も—」とそれぞれ題したシンポジウムでしたが、おかげさまでいずれもご参加の方々からはご好評をいただきました。

6回目を迎えた今回のシンポジウムは、「資料保存の最新事情—さまざまな取り組みの中から—」というテーマで開催いたします。最初に特別講演として3名の講師の方々より、さまざまなお話をさせていただく予定です。

また、2年前から実施しております資料保存実用講座にご参加の方々からご好評をいただいていることもあって、今回もシンポジウムの後半には資料保存実用講座を設けます。この実用講座では、資料保存にかかわるさまざまなツールやシステムなどについて、情報保存研究会の会員企業から総合的にプレゼンテーションをさせていただきます。

このほか、情報保存研究会の会員企業などによる展示会をあわせて開催し、シンポジウムに参加される方が資料保存に欠かせないさまざまなツールやシステムなどを取り扱っている専門業者と直接、情報交換できる場などを持てるようにいたします。

シンポジウムの詳細は別紙に示したとおりですので、皆さま方のご賛同、そしてご参加を心より願います。どうかよろしくご厚意申し上げます。

情報保存研究会

会長 八木和久

〒113-0033 東京都文京区本郷1-14-2-71

JHK事務局内

TEL：03-3813-5909

社団法人日本図書館協会

理事長 塩見 昇

〒104-0033 東京都中央区新川1-11-14

TEL：03-3523-0811

記

日時：2012年10月22日（月）9：50～18：00

会場：東京国立博物館 平成館・大講堂&ラウンジ（東京都台東区上野公園13-9）

JR：上野駅公園口・鶯谷駅南口から徒歩10分

東京メトロ：銀座線上野駅・日比谷線上野駅・千代田線根津駅から徒歩15分

京成電鉄：京成上野駅から徒歩15分

プログラム：

○特別講演1：「東日本大震災の東京国立博物館における資料保存の取り組みについて（仮題）」
東京国立博物館 保存修復課長 神庭信幸

○特別講演2：「災害に備えた地域の歴史資料保全」
東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤大介

○特別講演3：「東京低地災害史」
葛飾区郷土と天文の博物館 学芸員 橋本直子

○資料保存実用講座：情報保存研究会の会員企業による資料保存にかかわるさまざまなツールやシステム
についての総合的なプレゼンテーション

○併催：情報保存研究会の会員企業などによる展示会

後援：全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、国立大学図書館協会、私立大学図書館協会、文化財保存修復学会、ARMA東京支部、企業史料協議会、記録管理学会、全国大学史資料協議会、日本アーカイブズ学会、専門図書館協議会、アート・ドキュメンテーション学会（以上予定）